

# 1. 地震発生のメカニズム

地球の表面はプレートと呼ばれる厚さ数10km程度の岩盤で覆われており、プレートは年に数cmの速さで動いていることが分かっています。

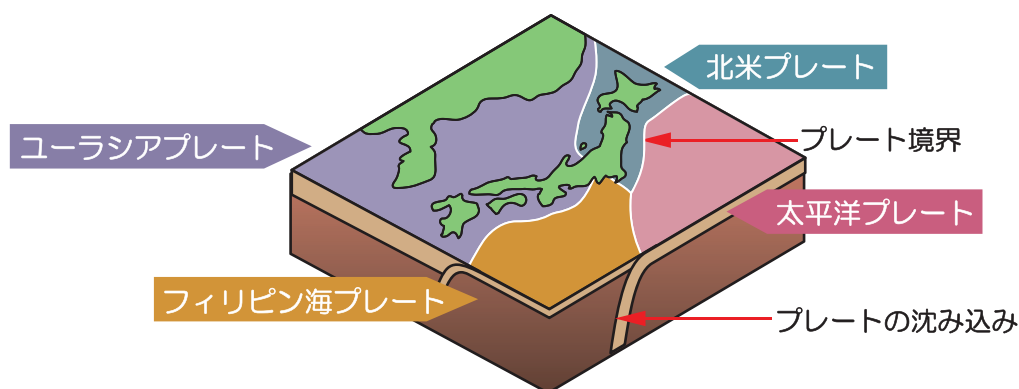
地震の種類は、プレートの境界で発生する地震と、プレートの内部で発生する地震の2つのタイプに分けることができます。

## ◆プレートの境界で発生する地震

日本付近にはユーラシアプレートと北米プレート(大陸プレート)、フィリピン海プレートと太平洋プレート(海洋プレート)の異なるタイプのプレートが4つあります。海洋プレートは大陸プレートに沈み込むように動いており、プレートの境界にたまったひずみが限界に達すると、ひずみを解放するような力が働いて、岩盤が破壊されることで地震が発生します。

東日本大震災を引き起こした東北地方太平洋沖地震は、太平洋プレートと北米プレートの境界付近で発生しました。

また、近年、発生が懸念されている南海トラフ地震はフィリピン海プレートとユーラシアプレートの境界付近が、震源域と予想されており、マグニチュード9前後の巨大地震の発生が懸念されています。



## ◆プレートの内部で発生する地震

プレートが動くことによって、プレートの内部にもひずみが蓄積し、プレート内部にひび割れやズレが生じて地震が発生することがあります。

このような地震は活断層型の地震と呼ばれ、阪神淡路大震災を引き起こした、兵庫県南部地震も活断層型の地震です。

なお、近江八幡市周辺にも多くの活断層があることがわかっています。

